

松濤園には4棟の展示館があり、それぞれの建物は日本各地から移築、または復元した日本家屋を活用しています。その周りを三之瀬の瀬戸を借景とした日本庭園が囲み、散策しながら歴史に触れることができる施設です。

陶磁器館

うつわの表面

うつわの表面をじっくり見つめてみると、その表面にはさまざまな様子が見えてきます。ざらざらしているもの、つるつるしているもの、でこぼこしているもの等、各作家によって生みだされた陶磁器のマチエールやカタチ、色や模様もさまざまです。

本展ではやきものの種類ごとに、それらの表面を見ていきます。そこには、職人や作家によって見いだされた知恵と技術が詰まっています。ぜひこの機会に、うつわの表面をじっくりご覧ください。



関連イベントのご案内

***学芸員による
ギャラリートーク***
御馳走一番館と陶磁器館をご案内いたします。
日時：7月14日(日)・8月25日(日)
各日とも、13:30から(60分程度)
参加費：無料(別途入館料が必要)

令和6年8月13日(火)限定! 開館30周年記念イベント

松濤園は令和6年7月で開館30周年を迎えます!

1 特別無料開放

当日に限り、どなたでも無料で松濤園の展覧会をご鑑賞いただけます。

2 記念品プレゼント

ご来館のみなさまへささやかな記念品をプレゼントいたします!
※在庫がなくなり次第、終了します。

3 下蒲刈人形いろぬり体験

素焼きの下蒲刈人形に好きな色で自由に絵を描いてみよう!

時間：9:00~15:30
参加費：300円(人形代)



朝鮮通信使資料館 御馳走一番館

朝鮮通信使に見る 江戸時代の旅



慶長12(1607)年から文化8(1811)年の間に12回来日した朝鮮通信使は、長い江戸までの旅の様子を日記形式で「使行録」という公式記録に残しています。朝鮮通信使の残した「使行録」は現代の私たちが、200~400年前の日本人の生活の様子を知ることのできる貴重な資料でもあります。下蒲刈島にも、第1次から第11次の来日まで、朝鮮通信使が立ち寄り、使行録から当時の広島の様子を知ることができます。

あかりの館 (旧吉田邸)

山口県上関から移築した商家を利用して、世界の灯火器を展示しています。



蒲刈島御番所 (復元)

江戸時代、この下蒲刈にあった御番所を、上関に現存している建物を参考に復元しています。



◆周辺施設案内

近代日本画壇の名品が、本格的木造建築の中鑑賞できます。
蘭島閣美術館
広島県呉市下蒲刈町三之瀬200-1 ☎0823-65-3066
小高い丘の上に建つ、洋画家・寺内萬治郎の常設展示館。
蘭島閣美術館別館
広島県呉市下蒲刈町三之瀬195 ☎0823-65-2500
京都洋画壇の巨匠、須田国太郎の常設展示館。
三之瀬御本陣芸術文化館
広島県呉市下蒲刈町三之瀬311 ☎0823-70-8088

開催中~9/2(月)
『絵の中の「音」を探す』
開催中~9/16(月・祝)
『没後60年 寺内萬治郎の歩み(1)』
開催中~8/26(月)
『浮世絵 いろ色』

松濤園 facebook

展示やイベント情報など、随時更新♪
QRコードをスキャンまたは、
下記アドレスより facebook ページへアクセス!

<https://www.facebook.com/shoutouen/> 🔍 検索



◆交通 Access

🚗 広島市内から車で約60分

呉市内から国道185号線を竹原方面へ。安芸灘大橋(有料)を渡って最初の島が下蒲刈町です。下蒲刈市民センター前の無料駐車場をご利用ください。駐車場から松濤園まで80m。

指定施設にて1,000円以上ご利用の方に安芸灘大橋の帰りの通行券を進呈!
詳しくは、呉市観光案内所 TEL.0823-23-7845 まで。

🚆 呉から電車とバス

JR 呉線で広駅または仁方駅で下車し、駅前最寄りのバス停留所から瀬戸内産交株式会社のバス「田戸・大浦・営農センター・沖友天満宮方面」行きに乗車。下蒲刈町内「三之瀬」停留所下車。停留所から松濤園まで100m。

